



# グリーンコープは 反対し続け

GM

## 食品表示制度の抜本的な 改正を求めて、署名提出!!



民主党参議院議員の大河原さんに署名を渡す天笠さん

食べものの本当の安心・安全を得るためには、徹底した食品表示が必要であると考え、グリーンコープは、「遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン」を中心に集う全国の仲間と共に食品表示問題に取り組んできました。

2010年3月26日、「食料の自給率向上と食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本的改正を求める」署名を国に提出しました。

現政権はマニフェストの中に、食品のトレーサビリティ(追跡可能性)・システムの導入や食品表示の拡大(遺伝子組み換え食品及びクローン動物由来食品の表示義務など)を明記しています。このことは食品表示制度の抜本的改正に向けた大きなチャンスと言えます。

### 産地表示など 食品表示の必要性

食のグローバル化と低価格競争がすすみ、日本では多くの食べものを海外に依存しています。その結果、違法な農薬残留事件や毒物混入事件、産地偽装事件など、食の安心・安全を脅かす事件が起きてきました。

現状では、私たち消費者は、食品にどんな材料が使われているか、どこで誰がどう作ったかというのを確かめてから食品を選ぶことはできません。そのような状況の中で、特に切実に求められているのが、加工食品の原料産地表示です。ミニマムアク

食のグローバル化と低価格競争がすすみ、日本では多くの食べものを海外に依存しています。その結果、違法な農薬残留事件や毒物混入事件、産地偽装事件など、食の安心・安全を脅かす事件が起きてきました。現状では、私たち消費者は、食品にどんな材料が使われているか、どこで誰がどう作ったかというのを確かめてから食品を選ぶことはできません。そのような状況の中で、特に切実に求められているのが、加工食品の原料産地表示です。ミニマムアク

大豆・納豆などごく一部の食品にとどまっております。食用油など多くの食品には表示義務がありません。日本でもEUのようにトレーサビリティを確立し、すべての食品と飼料のGM表示を義務化する表示制度が必要とされています。加工食品の原料産地表示ができれば、GM食品も同様に原材料が遺伝子組み換えであるかどうかの表示ができるようになります。食の不安をますます増大させているクローン家畜由

セス米違法流通事件後、米とその加工品にトレーサビリティと原産地表示を義務付ける法律「米穀等の取引情報記録と産地情報の伝達法」が制定されました。この法には付帯決議に「加工食品全般のトレーサビリティと原産地表示の義務化の検討」が掲げられています。この動きを消費者の力で推しすすめていくことが食品の安全・安心を保障していくことにつながっていくと言えます。

### 食品表示改正のための請願

食品表示の抜本的改正を求める署名活動に盛り込んでいる請願項目は、次の3点です。  
・加工食品原料のトレーサビリティと原料産地の表示を義務化すること  
・全ての遺伝子組み換え食品・飼料の表示を義務化すること  
・クローン家畜由来食品の表示を義務化すること

その結果、全国から325,125筆(うちグリーンコープ42,161筆)の署名が寄せられました。署名提出当日は、「食の安全と食の自給率向上のための食品表示学習会」(講師天笠啓祐さん)を開催しました。その後、紹介議員へ署名を提出しました。参加者からは「消費者の権利を守ってほしい。私たちが選択できる制度をつくってほしい」という意見が出されました。紹介議員を代表して参議院議員大河原雅子さんから「皆さんの思いが実現するよう、国民の安全を守るよう頑張りたい」という力強い挨拶がありました。

### 開会の挨拶

GM作物の栽培やGM食品に対する反対運動は、日本はもちろん、世界各国で広がっています。生物多様性の問題を含め、今後ますます反対の輪が広がることは間違いないと思います。また広げなければなりません。このような中で、今年10月名古屋で開催されるCOP10/MOP5に向けGMOフリーゾーンの拡大とGM食品いらない運動の波を遊佐から発信できることを大変光栄に思っています。



大会委員長 碓谷肇さん  
庄内みどり農業協同組合代表理事専

### 海外ゲストメッセージ



フィル・ベレアノさん  
ワシントン大学名誉教授

私たちが忘れてはいけないことは、GM汚染は仕方がないとあきらめてしまわないことです。そのため私たちは連帯し、協力していくことが大切です。



イジュウ 李宰郁さん  
韓国生活協同組合全国連合会事務総

人間は自然の一部であり、謙さを持って自然と共に生きていべき。予測もできないGM汚染子孫と地球環境が壊されないように共に闘いましょう。

### 消費者リレー報告

グリーンコープでは昨年の宮崎県綾町での全国交流集会をきっかけに組合員、生産者と共にこれまで以上にGMOフリーゾーンを広げていこうと取り組んでいます。私たちの地道な活動の一つひとつの積み重ねが大きな力になると思っています。皆さん一緒にがんばりましょう。



グリーンコープ生協みやざき理事長 杉尾紀美子さん

### 生産者リレー報告

今年の第4回集会には全国から約600人が宮崎県綾町にお越しくださいました。綾町をいただきありがとうございました。綾町は自然生態系農業条例を制定した有機農業の町として、これからも安心・安全でおいしい野菜作りをすすめていきます。



グリーンコープ産直生産者グループ綾菜会会長 小田道夫さん